



小規模事業者持続化補助金活用



工藤院長と吉村院長

総合腹部式総体療術くどう総体
院長 工藤 信一さん

〒746-0001 周南市川崎2丁目6-14
tel.0834-62-7832
<https://www.kudousoutai.com>

工藤さんは北九州出身。周南でサラリーマン時代の26歳の頃、交通事故によるむち打ちなどの症状が改善せず、広島で評判の整体院を回る中で、総合腹部式総体療術の師匠、岩森政子先生と出会った。岩森先生の施術はもちろん、カウンセリングを受けることで、今まで苦しんでいた体調が改善した。工藤さんは「同じ苦しみを抱えている人を自分の力で助けたい」と岩森氏に頼み込み弟子入り。岩森氏に師事し技術を習得。

工藤さんは岩森氏の一番弟子として、広島で後進の指導役を任せられると同時に、周南と広島で独立し施術院を開業もした。師の岩森氏が亡くなり、総合腹部式総体療術の第一人者として現在では広島や周南はもちろん、岡山や九州など、後進の指導に飛び回る生活が続ぎ、徳山駅周辺に置いていた施術院を新南陽地区で川沿いの一軒家に拠点を移し、施術院兼教室、事務所として活用している。

総合腹部式総体療術の第一人者
胃の位置を上げること
で改善を目指す

が多い。胃が下に落ちてきていることで子宮など内臓も圧迫している場合が多く、相談は不妊をはじめ女性独自の悩みや男女問わず便秘など相談にくる人が大半で、施術院には工藤さんの指導を受けた女性の吉村総体として独立している吉村美歩院長が中心となり、カウンセリングや施術を担当している。

総合腹部式総体療術は胃下垂と胃拡張によって起こる内臓の不調に対しての施術で、全身の神経や筋肉を緩めるソフトで、体の声を聴くだけでなく、カウンセリングをしながら心のケアを大切にする総合メンテナンスをしていく。

工藤さんは山口県で開業し、26年を迎え、師である岩森氏の後を継ぎ、出版や勉強会も精力的に行ってきた。しかし、総合腹部式総体療術は広島が拠点で、広島にはたくさんの生徒を抱え知名度もあるが、周南では口コミがほとんど。新南陽商工会議所のアドバイスを受けて、補助金を取得し、総合腹部式総体療術の第一人者として看板やチラシなどで情報をしっかりと発信することで、認知度をあげていくことにした。「高齢化の進む周南を元気なまちにする一翼を担いたい」と工藤さんは話し、情熱を燃やしている。



一軒家に設置した看板



工藤院長が出版した本